
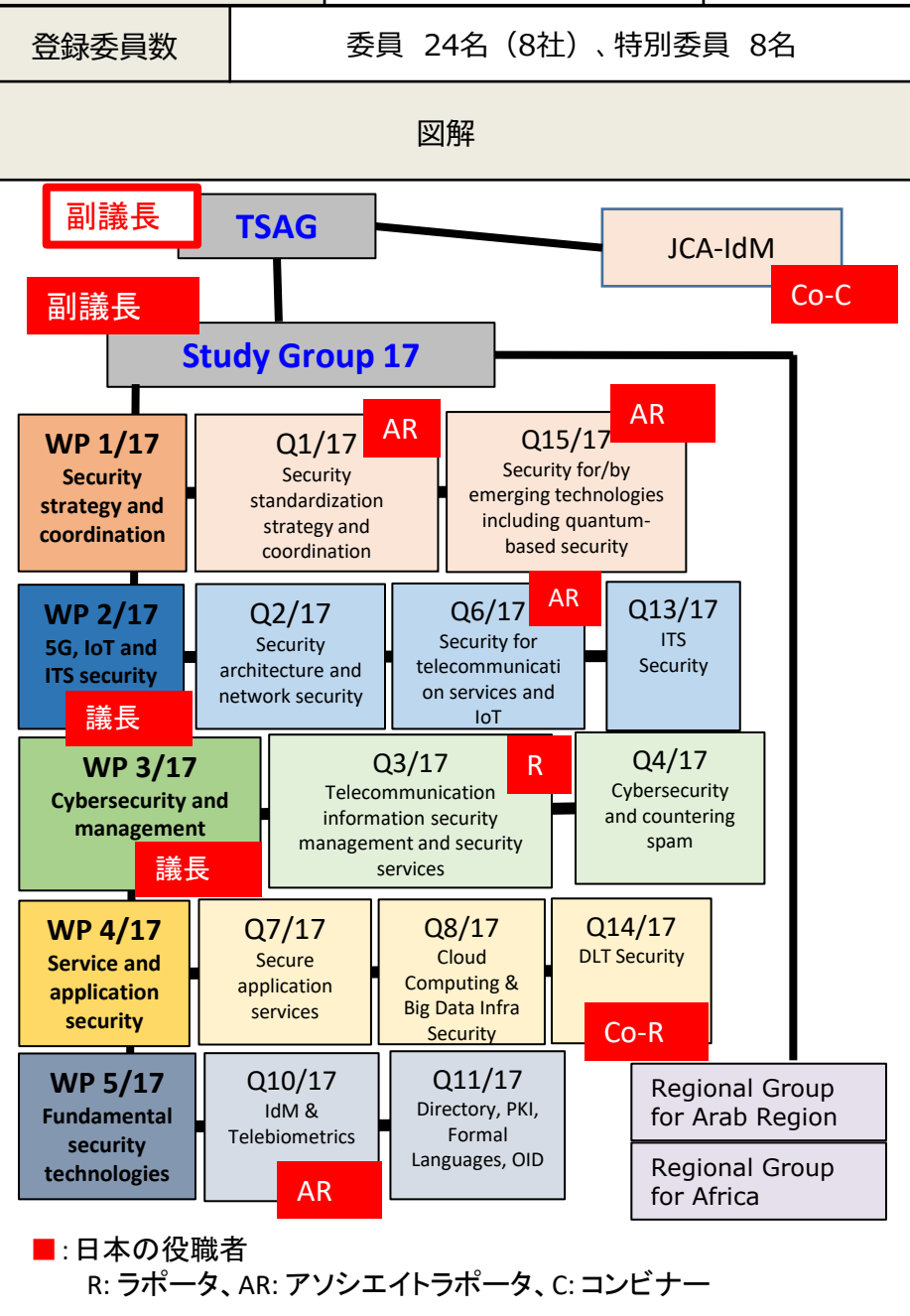


中期標準化戦略(概要と目的)

企画戦略委員	三宅 滋(日立)
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長 三宅 優(KDDI)、副委員長 安田 幹(NTT)
活動の目的・意義	<ul style="list-style-type: none"> 目的: 電気通信サービスに関わるサービスにおいて、サービスの安定運用とお客様への被害を最小限とするセキュリティ対策の仕組みの中で、国際標準化や情報共有が必要なものを勧告、技術文書として発行。 意義: 電気通信サービスに関わる新しいネットワーク技術、アーキテクチャー、サービス、等においてセキュリティ対策は必須となっており、サービスの安定運用と日本の技術の展開に向けた取り組みを実施可能。
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	量子技術、5G、Beyond 5G/6G、クラウド・仮想化、DLT、メタバース、サプライチェーン、生成AI等の新プラットフォーム・サービスの発展により、新たなサービスの展開が急速に進んでおり、これに伴うセキュリティ上の問題に対する新たな取り組みが必要。
関連のSDGsゴール	
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG17の活動において、特に、セキュリティマネジメント、CDC(Cyber Defense Center)、ITSセキュリティ、IoT/M2Mセキュリティ、5G/6Gセキュリティ(インフラセキュリティを含む)、クラウドセキュリティ、ID管理、DLTセキュリティ、量子暗号通信(QKD)、サプライチェーンセキュリティの活動に対して寄書等により貢献。 5Gセキュリティについては、5GMFのセキュリティ調査研究委員会、ITSセキュリティについては、コネクテッドカー専門委員会を通じて3J(自技会、自工会、JASPAR)との連携を推進。 他の分野と連携が必要な項目については、該当する専門委員会と引き続き情報交換を行いながら検討を実施。具体的には、QKD(NW Vision、信号制御)、IoTセキュリティ(oneM2M、IoT/SC)、ITSセキュリティ(マルチメディア、コネクテッドカー)、メタバース(マルチメディア)等が対象。 他国が提案する新規ワークアイテム、および、勧告案において、日本の方針に反する内容を勧告に含まれないように注視し、関係国と連携しながら必要な対応を行う。
国内外の標準化団体等の動向	ITU-T SG17は、2024年度に開催されるWTSA-24に向けて課題構成案を検討中。テレコムネットワークでのサービスが拡大する中で、メタバース、生成AI、サプライチェーンセキュリティ等の新しいトピックを含める動きがある。他のSG、標準化団体等との調整が必要。



<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5Gに対するセキュリティ管理策の勧告作成に貢献 B5G/6Gに関するセキュリティピックアップの整理とSG17として取り扱う項目の検討に貢献 ISO/IEC 27002改定に対応したITU-T X. 1051(テレコム向けISMS)の改定対応 ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J(自技会、自工会、JASPAR)と連携し、X.1373改訂作業等に反映 ISO/IEC 27400の審議状況を見据えた、IoTシステムのためのセキュリティ管理策(X.sc-IoT)の日本の意向を反映した勧告草案の更新 X.1060(Cyber Defence Centre)のアフリカ諸国等への展開に対する協力(CDCの解説を行う補足文書作成への貢献) 引き続き日本として注力・主導してきたQKD、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献(QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携)
---------------------------------------	---

<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> コネクテッド・カー専門委員会:X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討(3Jとの連携を含む) Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会:QKDに関わる勧告作成 IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会:IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い マルチメディア応用専門委員会:課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス 5GMF セキュリティ調査研究委員会:5Gセキュリティに関わる連携
------------------------------	---

主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各SG17会合で10件程度 	<ul style="list-style-type: none"> 10件(SG17 2023年2~3月会合) 14件(SG17 2023年8~9月会合) 	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> SG17会合(2023年2~3月、8~9月) CJK Information Security WG会合(時期未定) 	<ul style="list-style-type: none"> CJK Information Security WG会合は、コロナ禍のため、引き続き中止。 2023年2~3月のSG17会合は、日本から25名の参加。 2023年8~9月のSG会合は、日本から28名の参加。 	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件</p> <ul style="list-style-type: none"> サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。 	<p>0件</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年度はダウンストリーム以外のTTC標準化案件は無し。 	
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>1件</p> <ul style="list-style-type: none"> X.1373については、本勧告の改定状況等を見ながら標準化検討する。(X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices) 5Gのセキュリティ管理策については、SG17での勧告化後にTTC標準化を検討する。 	<p>1件を標準化</p> <ul style="list-style-type: none"> JT-X1715: Security requirements and measures for integration of quantum key distribution network and secure storage X.1373はSG17で改訂作業が進行中。 	<p>JT-X1710、JT-X1712の2件を訂正</p>
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティに関するセミナー開催(2022/2Q) 	<ul style="list-style-type: none"> 11月9日に量子ICTフォーラム、TTC共催オンラインセミナー「ネットワークアーキテクチャ、高性能コンピューティング、情報セキュリティの融合に向けて」を開催。 	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<ul style="list-style-type: none"> TTCLレポート活動報告、他 	<ul style="list-style-type: none"> SG17 2~3月会合、8~9月会合の結果報告をTTCLレポートに寄稿。 	

<p>新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • B5G/6G、サプライチェーンセキュリティ、生成AI、メタバース等に関するセキュリティトピックの整理とSG17として取り扱う項目の検討への貢献 • X.1060(Cyber Defence Centre)のアフリカ諸国等への展開に対する協力とCDC関連の勧告・補足文書作成への貢献 • X. 5G-ctrl(5Gに対するセキュリティ管理策)、および、X. sc-iot(IoTのセキュリティ管理策)の勧告発行への貢献 • X.ra-iot(IoTデバイスのセキュリティリスク解析フレームワーク)の勧告承認に向けた文書作成への貢献 • ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J(自技会、自工会、JASPAR)と連携し、X.1373の改訂版発行への貢献 • 日本として注力・主導してきたQKD、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献(QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携) 			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コネクテッド・カー専門委員会:X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討(3Jとの連携を含む) • Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会:QKDに関わる勧告作成 • IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会:IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い • マルチメディア応用専門委員会:課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス • 5GMF セキュリティ調査研究委員会:5Gセキュリティに関わる連携 			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2024年度目標(当初計画時)</p>	<p>2024年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 各SG17会合で10件程度 	<p>-</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> • SG17会合(2024年2~3月、8~9月) • CJK Information Security WG会合(時期未定) 		
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件</p> <ul style="list-style-type: none"> • サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。 		
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>1件</p> <ul style="list-style-type: none"> • X.1373(2024/02改訂版合意予定)については、改定内容を確認して標準化検討する。(X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices) • 5Gのセキュリティ管理策(2024/02合意予定)については、SG17での勧告化後にTTC標準化を検討する。 	<p>TS制定 TR制定:</p>	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> • セキュリティに関するセミナー開催(2024/2Q) 		
	<p>記事投稿、講演会</p>	<ul style="list-style-type: none"> • TTCLレポート活動報告、他 		